

秋田市学校適正配置

中央地域ブロック協議会だより

第1号

秋田市教育委員会では、今年3月に策定した「秋田市小・中学校適正配置基本方針」に基づき、市内7つの地域ごとに学校適正配置地域ブロック協議会を設置しました。

今後、学校適正配置に関する取組状況や協議の内容等について、保護者や地域の皆様にお知らせするため、協議会だよりを随時発行してまいります。

<中央地域ブロック>

基本方針では、市内7つの地域ブロックごとに、将来の学校数の上限を定めました。

小学校(保戸野、築山、旭北、中通、旭南、川尻、八橋、泉、寺内)9校→6校を上限

中学校(秋田南、山王、泉)3校→3校を上限

この基本方針に基づき、将来の望ましい学校数となるような学校の組み合わせについて、地域住民や保護者の代表の皆様と協議を始めました。

第1回中央地域ブロック協議会の協議内容

令和元年7月18日(木)18時30分から、中央市民サービスセンターにおいて、第1回中央地域ブロック協議会を行い、次のことを話し合いました。

<議題>

- ・秋田市小・中学校適正配置基本方針の概要について
- ・中央地域における現状と課題について
- ・学校統合の方向性の決定に向けた今後の進め方について



<今回の協議で決定した事項>

★中学校は現状の3校のまま★

- 中学校の上限は3校で現状と変わらないため、今後は、現在の中学校3校を存続させるものとして、小学校の学校統合の方向性について、協議していきます。

★統合のシミュレーション示す★

- 協議会からの要請を受け、たたき台として、教育委員会が、学校の適正配置に向けた統合のシミュレーション(小学校の組み合わせ)を示します。

<協議の中で出された主な意見・質問>

基本方針では、「期限を設けることなく、合意形成が図られるまで協議を行う」としているが、ある程度目標を定めるべきと思うかどうか。

通学の条件として、通学範囲を小学校で4km以内、中学校で6km以内、時間を概ね1時間以内としていることについてどうか。

<教育委員会の対応案>

7つの地域ブロックでは、地域性の違いがあることから、一律に何年以内という期限を設けていません。期限の目標なども、各地域ブロックで協議、検討を行っていただきたいと思います。

スクールバスを運行するなど、適切な交通手段を確保した上で、概ね1時間以内を目安としています。

学校の統合を進めるにあたり、現在、町内会連合会や地区体育協会、地区社会福祉協議会など、小学校単位で活動している様々な団体はどのようになるのか。

学校統合に伴う団体等のあり方については、各団体でご判断していただくこととなりますが、諸団体を所管する市役所内の関係部局には、協議内容等を随時、情報提供していきます。

一つの小学校から二つの中学校に進学しているケースや中央地域から他の地域に通学している児童生徒もいるので、他の地域ブロックとの協議も必要ではないか。

他の地域ブロックに関わることであれば、当該ブロックと情報を共有しながら、検討を進めます。また、状況に応じて、学区の見直しの検討も必要と考えています。

※ その他、「統合により学区が広がった際の子どもたちの遊び場(居場所)を作ってほしい」「校舎の老朽化等を考慮すべき」「自分の通った学校がなくなるのは寂しい」などの意見等がありました。

地域ブロック協議会委員 中央地域の委員は、次のとおりです。(全 28 名)

	No.	団体名		No.	団体名
地域委員	1	中央地域づくり協議会	保護者委員	1	秋田南中学校 P T A
	2	東通地区連合町内会		2	山王中学校 P T A
	3	旭南地区町内会連合会		3	泉中学校 P T A
	4	寺内小学区町内会連合会		4	保戸野小学校 P T A
	5	中通中央地区町内会連合会		5	築山小学校 P T A
	6	築山学区町内会連絡協議会		6	旭北小学校 P T A
	7	保戸野地区町内会連合会		7	中通小学校 P T A
	8	八橋地区町内会連合会		8	旭南小学校 P T A
	9	旭北地区町内会連合会		9	川尻小学校 P T A
	10	川尻地区町内会連合会		10	八橋小学校 P T A
	11	茨島・卸町地区町内会連合会		11	泉小学校 P T A
	12	泉学区町内会連合会		12	寺内小学校 P T A
	13	中央地域子育て支援ネットワーク連絡会		13	私立幼稚園・認定こども園協会推薦
	14	中央ブロック体育協会連絡協議会	公募	1	公募委員※

※公募委員は、市民の中から選考された委員です。

第 2 回中央地域ブロック協議会の開催予定
日 時： 令和元年 10 月 10 日(木) 18 時 30 分～
会 場： 中央市民サービスセンター 多目的ホール
議 題： 中央地域における小学校の統合案について 等

協議会は傍聴することができます。傍聴をご希望のかたは、直接会場にお越しください。受付は先着順です。定員に達した場合は、入場をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

●お問い合わせ先●
秋田市教育委員会学校適正配置推進室
秋田市山王一丁目 1 番 1 号
電 話 8 8 8 - 5 8 1 2
F A X 8 8 8 - 5 8 0 4
e-mail ro-edaz@city.akita.lg.jp
<https://www.city.akita.lg.jp/kyoikuiinkai/1010626/1021066.html>



秋田市学校適正配置

東部地域ブロック協議会だより

第1号

秋田市教育委員会では、今年3月に策定した「秋田市小・中学校適正配置基本方針」に基づき、市内7つの地域ごとに学校適正配置地域ブロック協議会を設置しました。

今後、学校適正配置に関する取組状況や協議の内容等について、保護者や地域の皆様にお知らせするため、協議会だよりを随時発行してまいります。

<東部地域ブロック>

基本方針では、市内7つの地域ブロックごとに、将来の学校数の上限を定めました。

小学校（明德小、旭川小、広面小、太平小、下北手小、東小、桜小）7校 → 5校 を上限

中学校（秋田東中、太平中、下北手中、城東中、桜中）5校 → 3校 を上限

この基本方針に基づき、将来の望ましい学校数となるような学校の組み合わせについて、地域住民や保護者の代表の皆様と協議を始めました。

第1回東部地域ブロック協議会の協議内容

令和元年8月8日（木）18時30分から、東部市民サービスセンターにおいて、第1回東部地域ブロック協議会を行い、次のことを話し合いました。

<議題>

- 秋田市小・中学校適正配置基本方針の概要について
- 東部地域における現状と課題について
- 学校統合の方向性の決定に向けた今後の進め方について

<今回の協議で合意した事項>**★引き続き意見交換を行う★**

- 東部地域ブロック内の学校の組み合わせを考えるため、今回の協議内容を踏まえ、各所属団体の意見を集約し、次回以降も現状や課題について協議を続けていきます。

**<協議の中で出された主な意見・質問>**

基本方針では、2040年の児童生徒数の推計から将来の学校数の上限を定めているが、この協議はどのようなスケジュールで進めていくのか。

統合により、受け入れる学校の児童生徒数が増加した場合、施設整備はどのように対応していくのか。

<教育委員会の対応案>

7つの地域ブロックでは、地域性の違いがあることから、一律に何年以内という期限を設けていません。期限の目標なども、各地域ブロックで協議、検討を行っていただきたいと思います。

今後、適正配置の協議により学校統合の方向性が決まり、施設整備の必要性が生じた場合には、必要な対応を行ってまいります。

裏面につづく

他都市では、少人数でも学校が成り立っている事例があるので、秋田市でも小規模校が残ったままでもよいのではないか。



子どもが少ないからといって学校が成り立たないということはありませんが、人数が少ないがゆえに、できないことや選べないことがあり、子どもたちが様々な経験を通じて成長するためには、学校に一定規模の集団が確保されていることが望ましいと考えています。

保戸野小学校の児童の一部が秋田東中学校に進学していることや、明德小学校の一部が中央地域にあるなどの現状があり、中央地域との調整が必要ではないか。

地域ブロック協議会では、まずは学校の組み合わせについて協議してまいります、必要に応じて、他地域との調整を図ってまいります。

※ その他、「複式学級のある学校は、この協議を待たずに対応すべきではないか」「組み合わせを考える上でのたたき台があるとよい」などの意見がありました。

地域ブロック協議会委員 東部地域の委員は、次のとおりです。(全 23 名)

	No.	団体名		No.	団体名
地域委員	1	東部地域づくり協議会	保護者委員	1	秋田東中学校 P T A
	2	明德地区町内会連合会		2	太平中学校 P T A
	3	旭川地域振興会		3	下北手中学校 P T A
	4	広面地区連合町内会		4	城東中学校 P T A
	5	東地区町内会連合会		5	桜中学校 P T A
	6	桜小地区町内会連絡協議会		6	明德小学校 P T A
	7	太平地区振興協議会		7	旭川小学校 P T A
	8	下北手地区振興会		8	広面小学校 P T A
	9	東部地域子育て支援ネットワーク連絡会		9	太平小学校 P T A
	10	東部地区体育協会連絡協議会		10	下北手小学校 P T A
				11	東小学校 P T A
				12	桜小学校 P T A
				13	私立幼稚園認定こども園協会推薦

第 2 回東部地域ブロック協議会の開催予定

日 時：令和元年 11 月 1 日(金) 18 時 30 分～

会 場：東部市民サービスセンター 洋室 1～3

議 題：東部地域における小・中学校の統合に向けた協議について 等

協議会は傍聴することができます。傍聴をご希望のかたは、直接会場にお越しください。受付は先着順です。定員に達した場合は、入場をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

●お問い合わせ先●

秋田市教育委員会学校適正配置推進室

秋田市山王一丁目 1 番 1 号

電 話 888-5812

F A X 888-5804

e-mail ro-edaz@city.akita.lg.jp

<https://www.city.akita.lg.jp/kyoikuiinkai/1010626/1021066.html>



秋田市学校適正配置

西部地域ブロック協議会だより

第 1 号

秋田市教育委員会では、今年 3 月に策定した「秋田市小・中学校適正配置基本方針」に基づき、市内 7 つの地域ごとに学校適正配置地域ブロック協議会を設置しました。

今後、学校適正配置に関する取組状況や協議の内容等について、保護者や地域の皆様にお知らせするため、協議会だよりを随時発行してまいります。

<西部地域ブロック>

基本方針では、市内 7 つの地域ブロックごとに、将来の学校数の上限を定めました。

小学校(日新小、勝平小、浜田小、豊岩小、下浜小) 5校→ 3校 を上限

中学校(秋田西中、豊岩中、下浜中、勝平中) 4校→ 2校 を上限

この基本方針に基づき、将来の望ましい学校数となるような学校の組み合わせについて、地域住民や保護者の代表の皆様と協議を始めました。

第 1 回西部地域ブロック協議会の協議内容

令和元年 7 月 22 日(月) 18 時 30 分から、西部市民サービスセンターにおいて、第 1 回西部地域ブロック協議会を行い、次のことを話し合いました。

<議題>

- ・秋田市小・中学校適正配置基本方針の概要について
- ・西部地域における現状と課題について
- ・学校統合の方向性の決定に向けた今後の進め方について

<今回の協議で決定した事項>

★統合のシミュレーション示す★

- 協議会からの要請を受け、たたき台として、教育委員会が、学校の適正配置に向けた統合のシミュレーション(小・中学校の組み合わせ)を示します。



<協議の中で出された主な意見・質問>

小規模校であっても、それぞれの地域に応じた魅力ある学校運営が行われているので、統合などをせずに、現状のまま、地域全体で子どもたちを見守るということで、よいのではないか。



<教育委員会の対応案>

どこの小規模校でも地域や保護者の協力を得ながら、その良さを活かそうとしていることは十分認識しています。しかしながら、人数が少ないがゆえに、できないことや選べないことがあり、子どもたちが様々な体験を通じて成長するには、学校に一定規模の集団が確保されていることが望ましいと考えています。

児童数が少ない3つの小規模校が統合しても、いずれ統合を繰り返すことになるので、大規模校を含めた学校の組み合わせを検討するとともに、子どもたちが自力で通学できる場所に学校を新設してはどうか。

学校の組み合わせは、将来を見据え、大規模校を含めた検討も必要と考えています。また、統合後の学校は、原則として、既存の学校施設、用地を活用することとしており、統合により学区が広域となった場合は、スクールバスの運行も考えています。

市内7地域ごとに学校の適正配置について協議を始めているとのことであるが、仮に全市的に学校の統合が進んだ際には、それに係る経費の財源の確保は大丈夫なのか。

現時点では学校適正配置に係る経費は未定ですが、統合により必要となる、スクールバスの運行や学校施設の改修等に伴う予算の確保に努めてまいりたいと考えています。

基本方針では、「期限を設けることなく、合意形成が図られるまで協議を行う」とし、協議会を年間2回から4回開催するとのことであるが、最終的には、何年後を目標にして協議していくのか。

7つの地域ブロックでは、地域性の違いがあることから、一律に何年以内という期限を設けていません。期限の目標なども、各地域ブロックで協議、検討をしていただきたいと考えています。

※ その他、「地域の道路や交通事情にも配慮し、学校の組み合わせを検討するべき」「子どもが自力で通学できる学校を残してほしい」「統合の先進事例などを紹介してほしい」などの意見等がありました。

地域ブロック協議会委員 西部地域の委員は、次のとおりです。(全18名)

	No.	団体名		No.	団体名
地域委員	1	西部地域住民自治協議会	保護者委員	1	秋田西中学校PTA
	2	新屋振興会		2	豊岩中学校PTA
	3	新屋勝平地区振興会		3	下浜中学校PTA
	4	浜田地区振興会		4	勝平中学校PTA
	5	豊岩地区振興会		5	日新小学校PTA
	6	下浜地区振興会		6	勝平小学校PTA
	7	西部地域子育て支援ネットワーク連絡会		7	浜田小学校PTA
	8	西部地区スポーツ推進協議会		8	豊岩小学校PTA
公募	1	公募委員※		9	下浜小学校PTA

※公募委員は、市民の中から選考された委員です。

第2回西部地域ブロック協議会の開催予定

日時：令和元年10月17日(木)18時30分～

会場：西部市民サービスセンター 洋室4～7

議題：西部地域における小・中学校の統合案について 等

協議会は傍聴することができます。傍聴をご希望のかたは、直接会場にお越しください。受付は先着順です。定員に達した場合は、入場をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

●お問い合わせ先●

秋田市教育委員会学校適正配置推進室

秋田市山王一丁目1番1号

電話 888-5812

FAX 888-5804

e-mail ro-edaz@city.akita.lg.jp

<https://www.city.akita.lg.jp/kyoikuiinkai/1010626/1021066.html>



秋田市学校適正配置

南部地域ブロック協議会だより

第 1 号

秋田市教育委員会では、今年 3 月に策定した「秋田市小・中学校適正配置基本方針」に基づき、市内 7 つの地域ごとに学校適正配置地域ブロック協議会を設置しました。

今後、学校適正配置に関する取組状況や協議の内容等について、保護者や地域の皆様にお知らせするため、協議会だよりを随時発行してまいります。

<南部地域ブロック>

基本方針では、市内 7 つの地域ブロックごとに、将来の学校数の上限を定めました。

小学校(牛島小、仁井田小、四ツ小屋小、上北手小、大住小、御所野小) 6校→5校を上限

中学校(城南中、御野場中、御所野学院中) 3校→3校を上限

この基本方針に基づき、将来の望ましい学校数となるような学校の組み合わせについて、地域住民や保護者の代表の皆様と協議を始めました。

第 1 回南部地域ブロック協議会の協議内容

令和元年 8 月 22 日(木) 18 時 30 分から、南部市民サービスセンターにおいて、第 1 回南部地域ブロック協議会を行い、次のことを話し合いました。

<議題>

- 秋田市小・中学校適正配置基本方針の概要について
- 南部地域における現状と課題について
- 学校統合の方向性の決定に向けた今後の進め方について

<今回の協議で決定した事項>

★引き続き意見交換を行う★

- 南部地域ブロック内の学校の組み合わせを考えるため、今回の協議内容を踏まえ、各所属団体の意見を集約し、次回以降も現状や課題について協議を続けていきます。



<協議の中で出された主な意見・質問>

基本方針に「必要に応じて学区の見直しを行う」とあるが、協議会の最初から学区の見直しを図るべきではないか。

未就学児の保護者の中には、学校の適正配置の取組について知っている人があまりいないようだ。広報活動に力を入れ、適正配置の取組をより身近に感じてもらえるような工夫をしてほしい。

<教育委員会の対応案>

協議会では、まず学校の組み合わせを議論していただくこととしておりますが、学区の見直しについては、必要に応じて検討してまいります。

協議会だよりの発行や、メディアの活用など、未就学児の保護者に対しても、なお一層の周知に努めてまいります。

裏面につづく

地域コミュニティは小学校単位で培われていて、小規模校ほど地域とのつながりは強い。その地域コミュニティの所管部局と十分に部局間の連携を図ってほしい。

学校と地域のつながりが強いことは十分に承知しており、庁内の関係する部局に、情報提供を行うなど、十分な連携を図ってまいります。

南部地域の小学校は、各地区の中心に位置しているが、中学校は地区の端にあるように思える。こういった現状から、秋田市全体を一つのエリアとして考える必要があるのではないか。

地域の状況に応じて、隣接するブロック間で情報を共有しながら、検討していく必要があると考えております。



※ その他、「人口ビジョン目標と国立社会保障・人口問題研究所の推計が乖離していると感じる」「これまでの地域コミュニティが崩れてしまうので、学区の見直しはできる限り避けてほしい」「雄和地域の統廃合の例など、これまでの経緯について次回提示してほしい」などの意見がありました。

地域ブロック協議会委員 南部地域の委員は、次のとおりです。(全 20 名)

	No.	団 体 名		No.	団 体 名
地 域 委 員	1	南部地域づくり協議会	保 護 者 委 員	1	城南中学校 P T A
	2	牛島地区振興会		2	御野場中学校 P T A
	3	大住学区振興会		3	御所野学院中学校 P T A
	4	御所野連合町内会		4	牛島小学校 P T A
	5	御野場連合町内会		5	仁井田小学校 P T A
	6	仁井田地区市民憲章推進協議会		6	四ツ小屋小学校 P T A
	7	四ツ小屋地区振興会		7	上北手小学校 P T A
	8	上北手地区振興会		8	大住小学校 P T A
	9	南部地域子育て支援ネットワーク連絡会		9	御所野小学校 P T A
	10	南部地区体育協会連絡協議会		10	私立幼稚園認定こども園協会推薦

第 2 回南部地域ブロック協議会の開催予定

日 時：令和元年 11 月 6 日(水) 18 時 30 分～

会 場：南部市民サービスセンター 地域文化ホール

議 題：南部地域における小・中学校の統合に向けた協議について 等

協議会は傍聴することができます。傍聴をご希望のかたは、直接会場にお越しください。受付は先着順です。定員に達した場合は、入場をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

●お問い合わせ先●

秋田市教育委員会学校適正配置推進室

秋田市山王一丁目 1 番 1 号

電 話 8 8 8 - 5 8 1 2

F A X 8 8 8 - 5 8 0 4

e-mail ro-edaz@city.akita.lg.jp

<https://www.city.akita.lg.jp/kyoikuiinkai/1010626/1021066.html>



秋田市学校適正配置

北部地域ブロック協議会だより

第 1 号

秋田市教育委員会では、今年 3 月に策定した「秋田市小・中学校適正配置基本方針」に基づき、市内 7 つの地域ごとに学校適正配置地域ブロック協議会を設置しました。

今後、学校適正配置に関する取組状況や協議の内容等について、保護者や地域の皆様にお知らせするため、協議会だよりを随時発行してまいります。

<北部地域ブロック>

基本方針では、市内 7 つの地域ブロックごとに、将来の学校数の上限を定めました。

小学校(土崎、港北、土崎南、高清水、外旭川、飯島、下新城、上新城、金足西、飯島南) 10 校→ 6 校 を上限
中学校(土崎、外旭川、秋田北、将軍野、飯島) 5 校→ 3 校 を上限

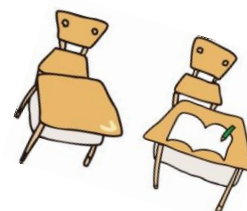
この基本方針に基づき、将来の望ましい学校数となるような学校の組み合わせについて、地域住民や保護者の代表の皆様と協議を始めました。

第 1 回北部地域ブロック協議会の協議内容

令和元年 7 月 30 日(火) 18 時 30 分から、北部市民サービスセンターにおいて、第 1 回北部地域ブロック協議会を行い、次のことを話し合いました。

<議題>

- 秋田市小・中学校適正配置基本方針の概要について
- 北部地域における現状と課題について
- 学校統合の方向性の決定に向けた今後の進め方について



<今回の協議で決定した事項>

★統合のシミュレーション示す★

- 協議会からの要請を受け、たたき台として、教育委員会が、学校の適正配置に向けた統合のシミュレーション(小・中学校の組み合わせ)を示します。



<協議の中で出された主な意見・質問>

統合により学区が広域となった場合、通学時の安全をどのように確保するのか。

学校の統合を進めるにあたり、小学校単位で活動している地区民生児童委員協議会、地区社会福祉協議会、地区市民憲章推進協議会など、地域の様々な諸団体との兼ね合いはどうなるのか。

<教育委員会の対応案>

通学時の安全確保は、重要であると捉えており、必要に応じて、スクールバスの運行など、適切な交通手段を確保します。

学校統合に伴う団体等のあり方については、各団体でご判断していただくこととなりますが、諸団体を所管する市役所内の関係部局には、協議内容を随時、情報提供していきます。

学校適正配置の取組は、市が目指しているコンパクトシティ※と関連があるのか。
※各地域の拠点等に、多様なサービス機能や人口を集積したコンパクトなまちづくり

子どもたちにとって、より良い教育環境を整えていくために取り組むものであり、コンパクトシティ構想とは、直接的につながるものではありません。

基本方針では、将来の学校の適正規模を小・中学校ともに 12 学級から 18 学級とし、より望ましい規模を 18 学級としている根拠は何か。

小学校では 1 学年に 3 学級、中学校では 1 学年に 6 学級あることにより、集団行動や交流活動が活発に行えるほか、部活動などの選択肢が確保できることから、18 学級をより望ましい学校の規模としています。

○ その他、「小学校単位で地域コミュニティが形成されているので、市のまちづくりに関する各種計画との整合性を図るべき」「協議の期限を設けなければ、学校統合までのスケジュール感がわからない」などの意見等がありました。

地域ブロック協議会委員 北部地域の委員は、次のとおりです。(全 33 名)

No.	団 体 名	No.	団 体 名
1	北部地域住民自治協議会	1	土崎中学校 P T A
2	秋田みなと振興会	2	外旭川中学校 P T A
3	土崎地区町内会連合会	3	秋田北中学校 P T A
4	寺内地区町内会連絡協議会	4	将軍野中学校 P T A
5	将軍野地区町内会連合会	5	飯島中学校 P T A
6	外旭川地区振興会	6	土崎小学校 P T A
7	飯島地区振興協議会	7	港北小学校 P T A
8	飯島地区町内会連合会	8	土崎南小学校 P T A
9	飯島南小地区町内会連合会	9	高清水小学校 P T A
10	下新城地区振興会	10	外旭川小学校 P T A
11	上新城地区振興会	11	飯島小学校 P T A
12	金足地区振興会	12	下新城小学校 P T A
13	北部地域子育て支援ネットワーク連絡会	13	上新城小学校 P T A
14	土崎ブロック体育協会連絡協議会	14	金足西小学校 P T A
15	北部地区体育協会連絡協議会	15	飯島南小学校 P T A
16	港商友会	16	私立幼稚園・認定こども園協会推薦

公募 1 公募委員※ ※公募委員は、一般市民の中から選考された委員です

第 2 回北部地域ブロック協議会の開催予定

日 時：令和元年 10 月 23 日(水) 18 時 30 分～
会 場：北部市民サービスセンター 地域文化ホール
議 題：北部地域における小・中学校の統合案について 等

協議会は傍聴することができます。傍聴をご希望のかたは、直接会場にお越しください。受付は先着順です。定員に達した場合は、入場をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

●お問い合わせ先●
秋田市教育委員会学校適正配置推進室
秋田市山王一丁目 1 番 1 号
電 話 888-5812 FAX 888-5804
e-mail ro-edaz@city.akita.lg.jp
<https://www.city.akita.lg.jp/kyoikuiinkai/1010626/1021066.html>



秋田市学校適正配置

河辺地域ブロック協議会だより

第 1 号

秋田市教育委員会では、今年 3 月に策定した「秋田市小・中学校適正配置基本方針」に基づき、市内 7 つの地域ごとに学校適正配置地域ブロック協議会を設置しました。

今後、学校適正配置に関する取組状況や協議の内容等について、保護者や地域の皆様にお知らせするため、協議会だよりを随時発行してまいります。

<河辺地域ブロック>

基本方針では、市内 7 つの地域ブロックごとに、将来の学校数の上限を定めました。

小学校（岩見三内小、河辺小、戸島小） 3校 → 1校 を上限

中学校（岩見三内中、河辺中） 2校 → 1校 を上限

この基本方針に基づき、将来の望ましい学校数となるような学校の組み合わせについて、地域住民や保護者の代表の皆様と協議を始めました。

第 1 回河辺地域ブロック協議会の協議内容

令和元年 8 月 20 日（火）18 時 30 分から、河辺市民サービスセンターにおいて、第 1 回河辺地域ブロック協議会を行い、次のことを話し合いました。

<議題>

- 秋田市小・中学校適正配置基本方針の概要について
- 河辺地域における現状と課題について
- 学校統合の方向性の決定に向けた今後の進め方について

<今回の協議で合意した事項>

★引き続き意見交換を行う★

○河辺地域ブロック内の学校の組み合わせを考えるため、今回の協議内容を踏まえ、各所属団体の意見を集約し、次回以降も現状や課題について協議を続けていきます。



<協議の中で出された主な意見・質問>

学校の統合は、集団規模（児童生徒数）だけを基準として進めるのか。少人数でも頑張っている学校はたくさんある。小規模校として残してもよいのではないか。

人口ビジョン目標よりは、国立社会保障・人口問題研究所の推計の方が実態に近いと感じている。どちらの推計を優先させるのか。

<教育委員会の対応案>

小規模校にもメリットはありますが、人数が少ないゆえに、できないことや選べないことがあり、子ども達が様々な経験を通じて成長するためには、学校に一定規模の集団が確保されていることが望ましいと考えています。

秋田市としての将来人口の目標値に近づけることを念頭に置きながら、国の推計値も勘案しているものであり、両方の推計を見ながら取り組みを進めてまいります。

基本方針では、通学距離が小学校では4 km以内、中学校では6 km以内とあるが、河辺地域はこの範囲を超えているのではないか。

統合により、この範囲を超える場合には、スクールバスを運行するなど、適切な交通手段を確保した上で、通学時間が概ね1時間以内となるように対応してまいります。

河辺地域ブロック協議会としての結論はいつまでに出せばよいのか。



7つの地域ブロックでは、地域性の違いがあることから、一律に何年以内という期限を設けていません。期限の目標なども、各地域ブロックで協議、検討を行っていただきたいと考えています。

※ その他、「児童生徒数が減った場合、1つの学校だけでは部活動を継続することは難しい」「今日が学校適正配置の協議のスタートラインなので、委員や教育委員会からもっと話が聞きたい」「雄和地域の統合の事例を紹介してほしい」などの意見がありました。

地域ブロック協議会委員 河辺地域の委員は、次のとおりです。(全12名)

	No.	団体名		No.	団体名
地域委員	1	河辺の郷自治協議会	保護者委員	1	岩見三内中学校PTA
	2	豊島地区町内会長会		2	河辺中学校PTA
	3	岩見三内地区町内会長会		3	岩見三内小学校PTA
	4	和田地区町内会長会		4	河辺小学校PTA
	5	河辺地域子育て支援ネットワーク連絡会		5	戸島小学校PTA
	6	河辺地区体育協会連絡協議会		6	私立幼稚園認定こども園協会推薦

第2回河辺地域ブロック協議会の開催予定

日時：令和元年10月29日(火)18時30分～

会場：河辺市民サービスセンター 地域文化ホール

議題：河辺地域における小・中学校の統合に向けた協議について 等

協議会は傍聴することができます。傍聴をご希望のかたは、直接会場にお越しください。受付は先着順です。定員に達した場合は、入場をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

●お問い合わせ先●

秋田市教育委員会学校適正配置推進室

秋田市山王一丁目1番1号

電話 888-5812

FAX 888-5804

e-mail ro-edaz@city.akita.lg.jp

<https://www.city.akita.lg.jp/kyoikuiinkai/1010626/1021066.html>



秋田市学校適正配置

雄和地域ブロック協議会だより

第 1 号

秋田市教育委員会では、今年 3 月に策定した「秋田市小・中学校適正配置基本方針」に基づき、市内 7 つの地域ごとに学校適正配置地域ブロック協議会を設置しました。

今後、学校適正配置に関する取組状況や協議の内容等について、保護者や地域の皆様にお知らせするため、協議会だよりを発行してまいります。

<雄和地域ブロック>

基本方針では、市内 7 つの地域ブロックごとに、将来の学校数の上限を定めました。

小学校（雄和小） 1 校 → 1 校 を上限

中学校（雄和中） 1 校 → 1 校 を上限

この基本方針に基づき、地域住民や保護者の代表の皆様と協議を始めました。

第 1 回雄和地域ブロック協議会の協議内容

令和元年 8 月 28 日（水）18 時 30 分から、雄和市民サービスセンターにおいて、第 1 回雄和地域ブロック協議会を行い、次のことを話し合いました。

<議題>

- 秋田市小・中学校適正配置基本方針の概要について
- 雄和地域における現状と課題について
- その他

★今回の協議で合意した事項★

- 雄和地域は、すでに望ましい学校数となっているため、本協議会は委員から再開の要望があった場合に適宜開催する。

**地域ブロック協議会委員** 雄和地域の委員は、次のとおりです。（全 7 名）

	No.	団体名		No.	団体名
地域委員	1	雄和市民協議会	保護者委員	1	雄和中学校 P T A
	2	雄和自治会連合会		2	雄和小学校 P T A
	3	雄和地域子育て支援ネットワーク連絡会		3	未就学児保護者代表
	4	雄和地区体育協会連絡協議会			

裏面につづく

<協議の中で出された主な意見等>

・平成28年に雄和地域の4つの小学校が統合し、子どもたちが切磋琢磨できる教育環境が整ったと感じている。

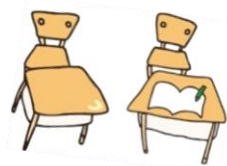
・小・中併設校は、温かい家庭的な雰囲気、9年間の子どもの成長を地域全体で見守ることができる貴重な学校である。

・雄和地区体育協会は、4小学校統合前は4つに分かれていたが、統合の1年前から話し合いを始めていたので、スムーズに1つにまとめることができた。

・毎年9月に開催される運動会は、小・中学校の児童生徒と雄和住民が合同で行っている。雄和地域が一つになり、子どもたちの成長を感じることができるイベントをみんなに見てほしい。

・雄和地域の統合事例を全市のトップランナーとして、他の地域に紹介してほしい。

・生徒の一部で、部活動の豊富な他の中学校に進学している現状があり、このままでは、雄和中の生徒がどんどん減ってしまうと危惧している。



●お問い合わせ先●

秋田市教育委員会学校適正配置推進室
秋田市山王一丁目1番1号
電話 888-5812
FAX 888-5804
e-mail ro-edaz@city.akita.lg.jp

<https://www.city.akita.lg.jp/kyoikuiinkai/1010626/1021066.html>

